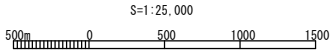
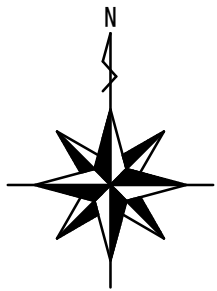
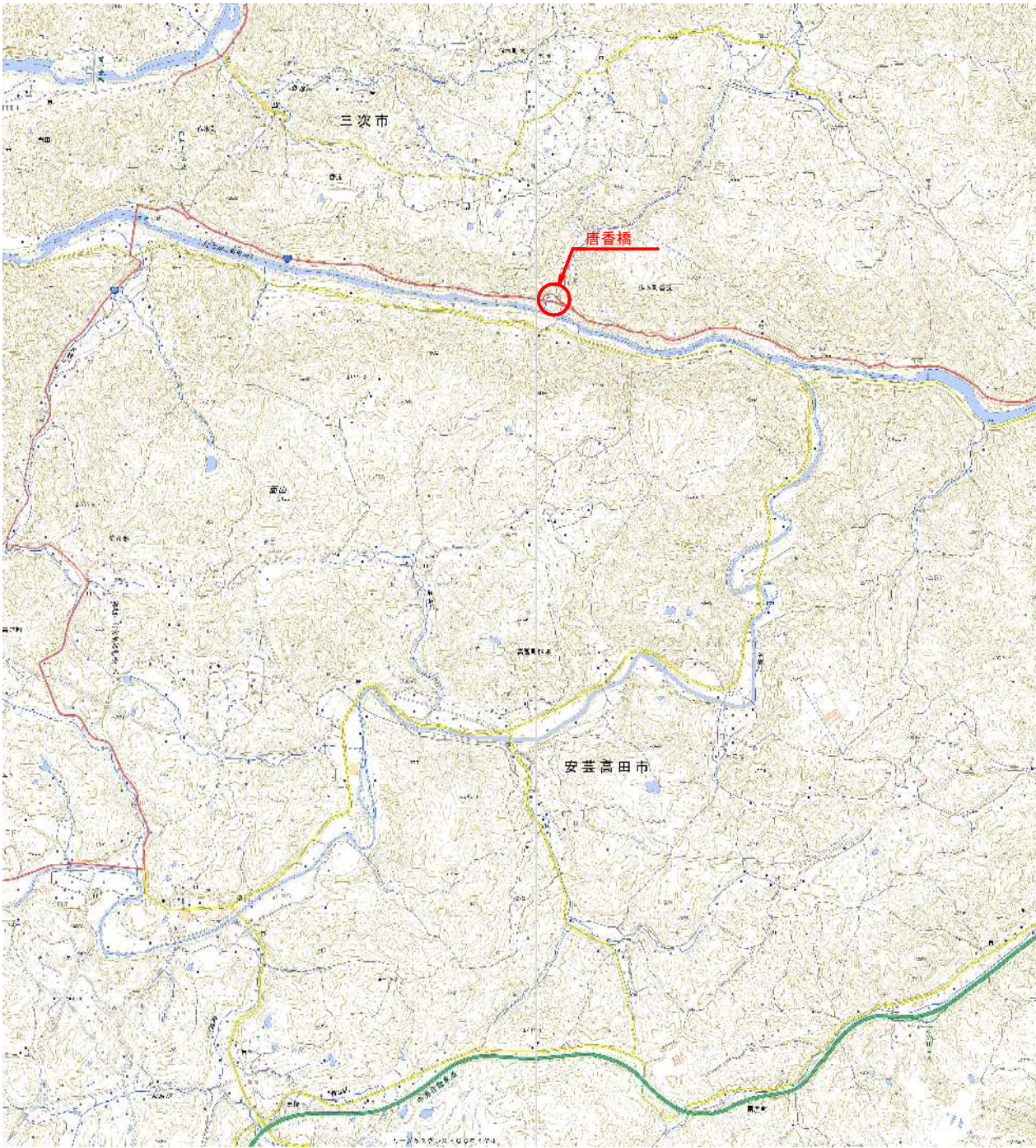


位置図

S=1:25000

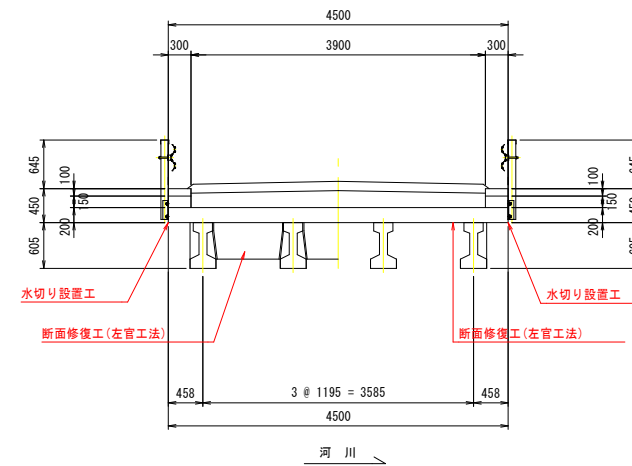


国土地理院発行 地形図「三次」「前川」

【唐香橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

S=1:50

標準部	横析部
標準部	横析部



部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	床 版	断面修復工(左官工法)	C1
		水切り設置工	C1
	横桁	断面修復工(左官工法)	C1
下部工	A1・A2橋台	断面修復工(左官工法)	B、C1
支承部	A1・A2橋台	支承防錆工、ナット設置工	C2
路上	舗装	舗装撤去・再舗装工	C1
	伸縮装置	目地止水工(ひびわれ抑制シート)	C1
	防護柵	デリネーター設置工	B
	地覆	断面修復工(左官工法)	B

Technical drawing of a bridge cross-section showing repair work. The drawing includes dimensions for the bridge deck (4500mm total width, 3900mm clear width) and the pier (4500mm width). It shows the removal of existing reinforcement and the installation of new reinforcement (3 @ 1195 = 3585). The drawing also shows the installation of support reinforcement (支那防錆工) and the installation of a net (ネット設置工). The drawing is labeled "断面修復工 (左官工法)" (Cross-section repair work (left side method)).

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査書を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 13
会社名	中電技術コンサルタンツ株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

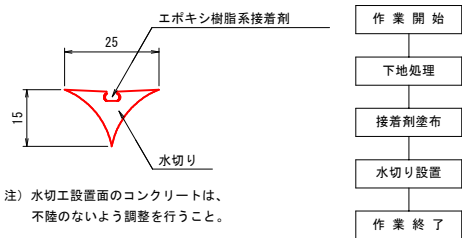
唐香橋 補修図(その1)

S=1:30

1径間（桁下面）
断面修復工(左官工法), 水切り設置工

水切り詳細図

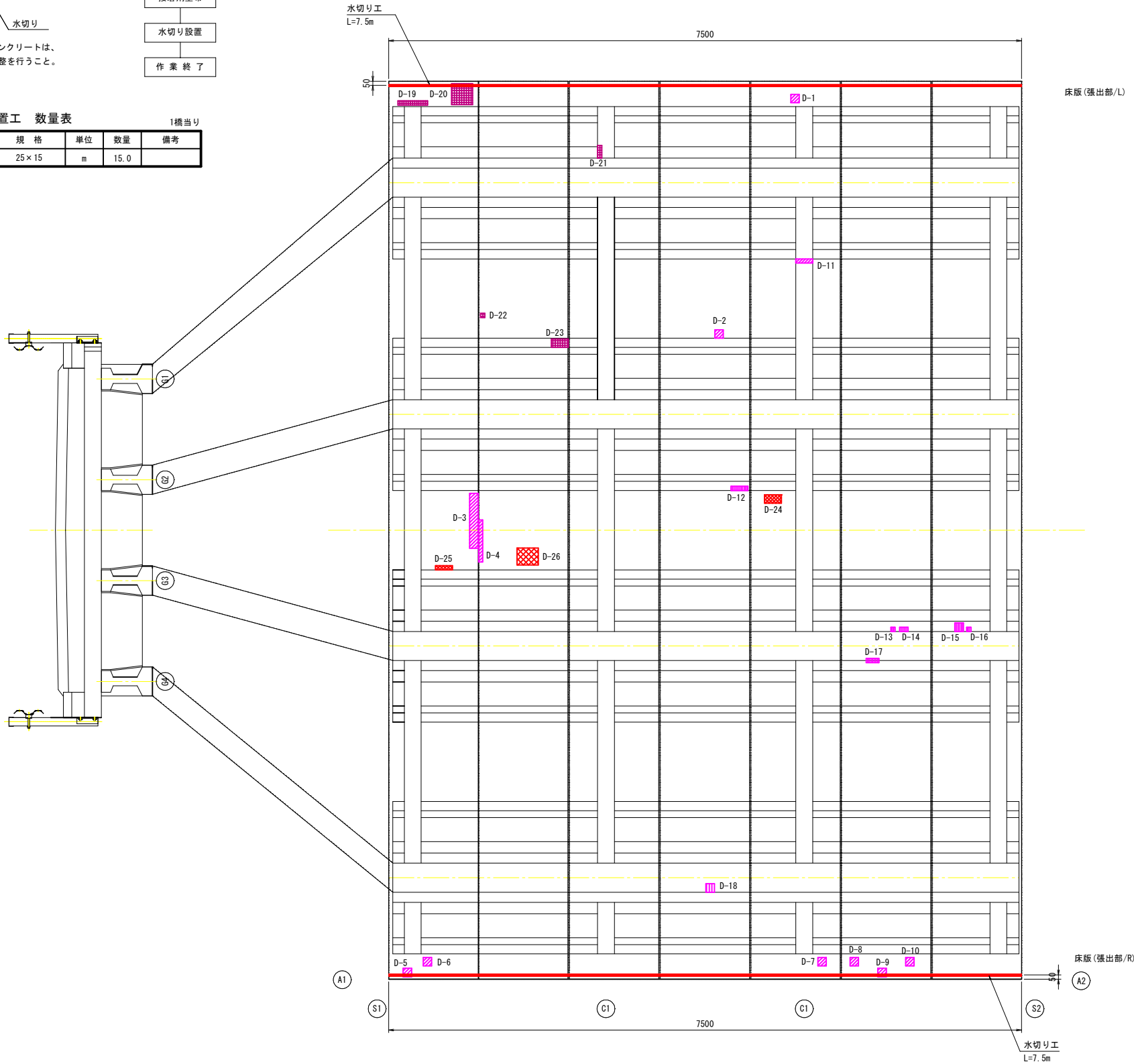
(水切りアイドリップ同等品)



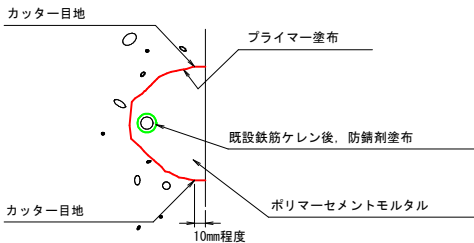
水切り設置工 数量表

1橋当り

名称	規格	単位	数量	備考
水切り	25×15	m	15.0	



断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】

※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。

※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。

※数量算出条件

・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（床版）						
D-1	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-2	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-3	うき	0.10	0.65	50	0.0650	0.00325
D-4	うき	0.05	0.50	50	0.0250	0.00125
D-5	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-6	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-7	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-8	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-9	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-10	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-11	うき	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-12	欠損	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-13	欠損	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-14	欠損	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-15	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-16	欠損	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-17	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-18	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-19	鉄筋露出	0.05	0.35	50	0.0180	0.00090
D-20	鉄筋露出	0.25	0.25	50	0.0630	0.00315
D-21	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-22	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-23	鉄筋露出	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-24	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-25	剥離	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-26	剥離	0.20	0.25	50	0.0500	0.00250
合計					0.4280	0.0214

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

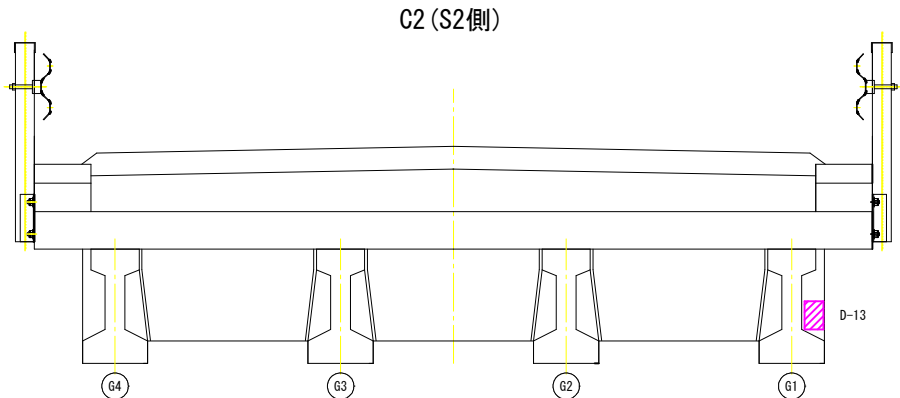
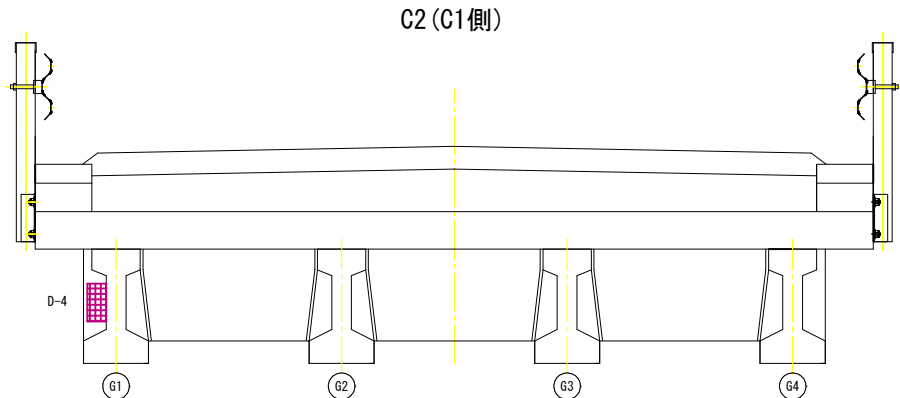
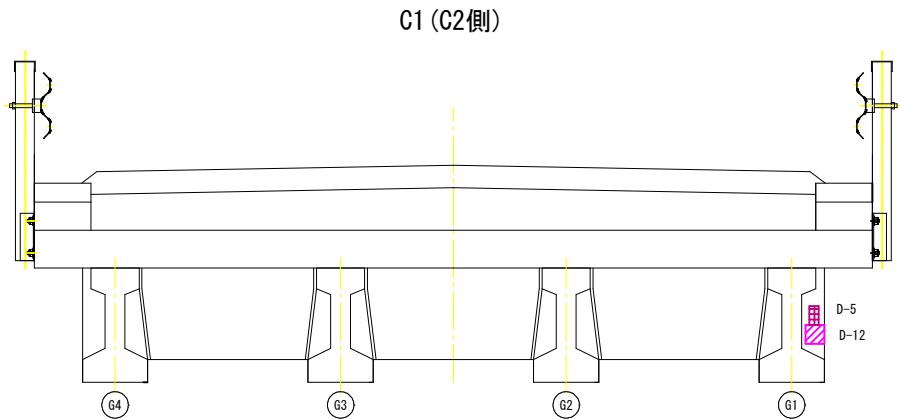
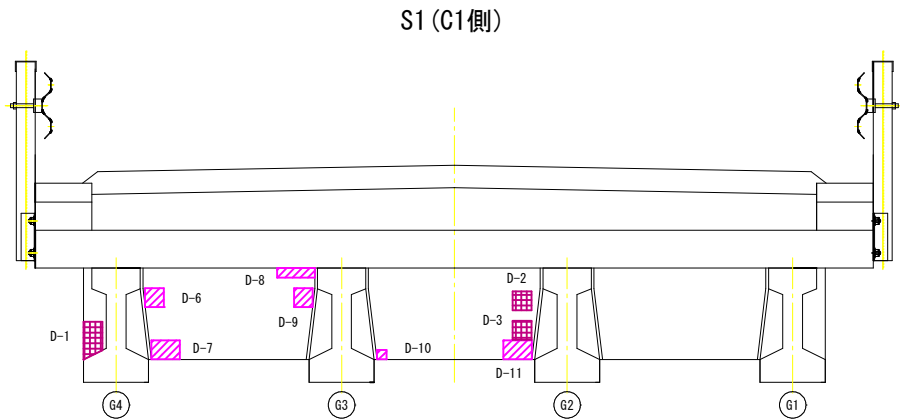
注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

唐香橋 補修図(その2)

S=1:20

1径間（横桁）
断面修復工（左官工法）

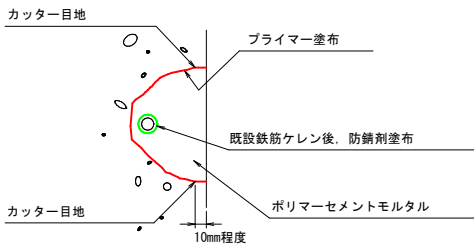


凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	長さ (mm) ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	縦 × 横 (mm) 剥離
	縦 × 横 (mm) 鉄筋露出
	遊離石灰
	縦 × 横 (mm) うき
	その他
	縦 × 横 (mm) 豆板・空洞
	幅 - 長さ (mm) 路面のクラック
	漏水・滞水
	縦 × 横 (mm) 変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

断面修復工詳細図（左官工法）



【断面修復工】

※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。

※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。

※数量算出条件

・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（横桁）						
D-1	鉄筋露出	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-2	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-3	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-4	鉄筋露出	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-5	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-6	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-7	うき	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-8	うき	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-9	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-10	うき	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-11	うき	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-12	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-13	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
合計					0.1480	0.0074

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

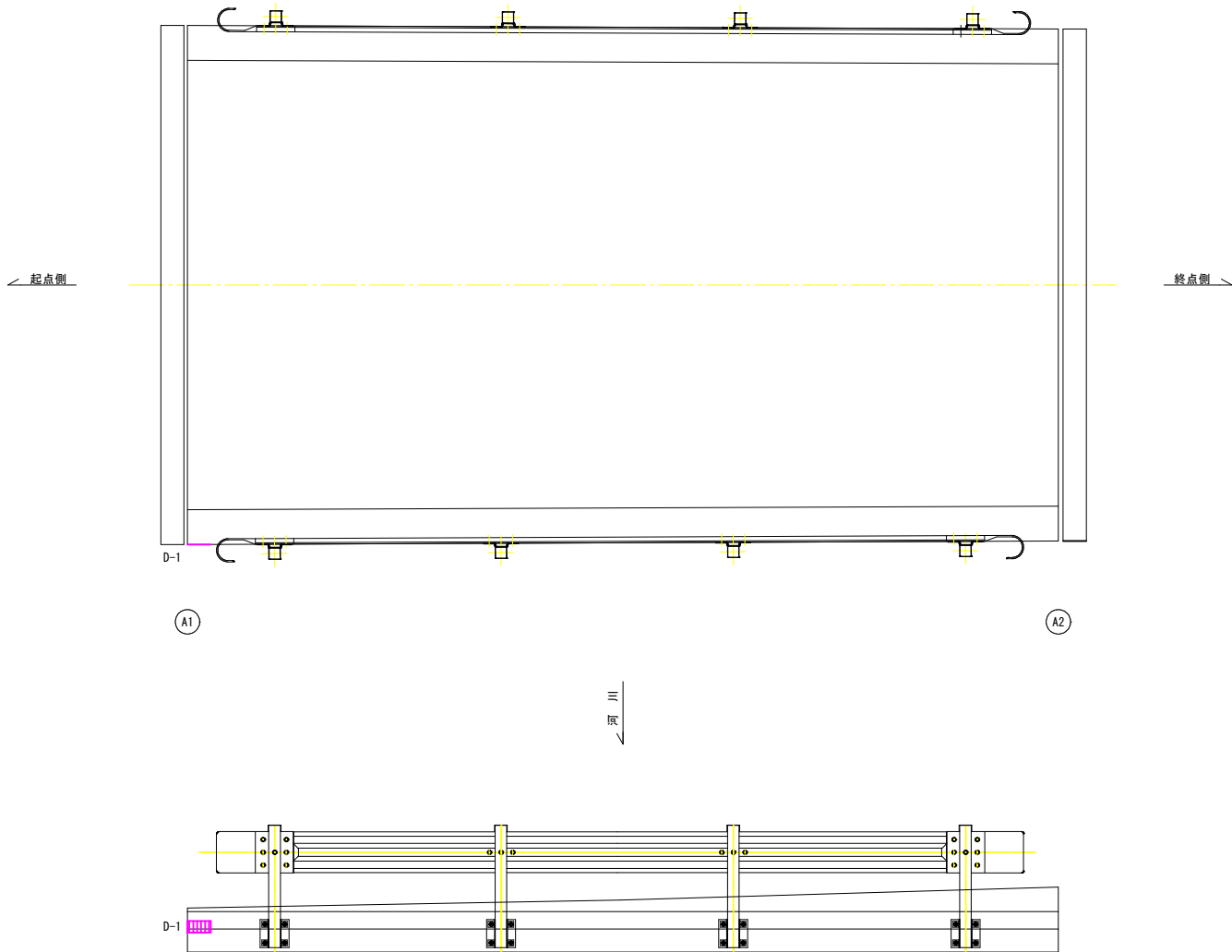
【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:20	図面番号	4 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

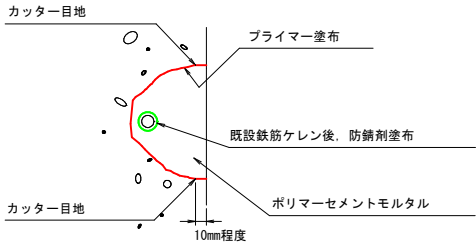
唐香橋 補修図(その3)

S=1:30

1径間（橋面）
断面修復工（左官工法）



断面修復工詳細図（左官工法）



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 mm	長辺 mm	深さ mm		
上部工(地覆)						
D- 1	変形・欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
合 計					0.0200	0.00100

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

凡 例 (損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ（開口幅0.2mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.2mm以上0.5mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.5mm以上1.0mm未満）
	ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
	剝離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	5 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

唐香橋 補修図(その4)

S=1:30

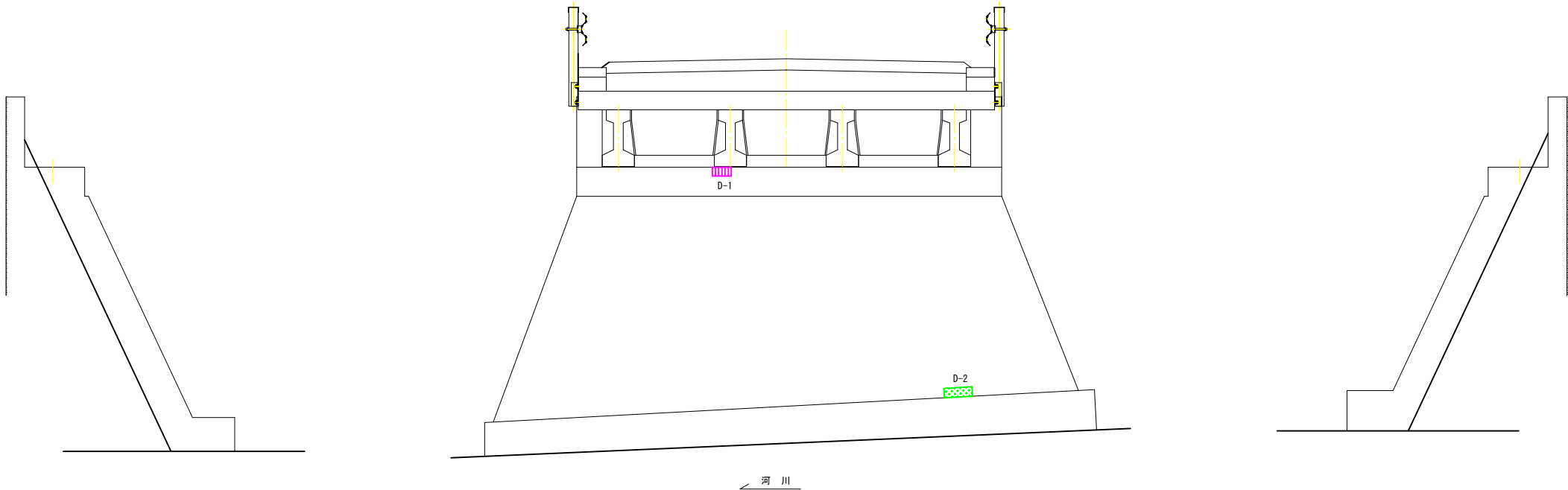
下部工 (A1橋台)

断面修復工(左官工法)

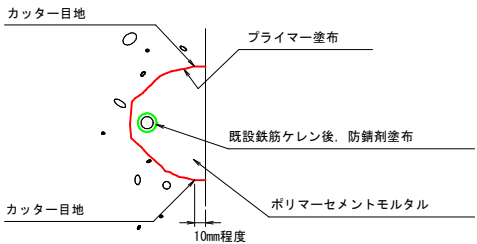
側面図

正面図

側面図



断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】

※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。

※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。

※数量算出条件

・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表 (左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 mm	長辺 mm	深さ mm		
下部工 (A1橋台)						
D- 1	変形・欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D- 2	その他	0.10	0.30	50	0.0300	0.00150
合 計					0.0500	0.00250

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託 (15m未満)		
図面名	補修図(その4)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

唐香橋 補修図(その5)

S=1:30

下部工 (A2橋台)

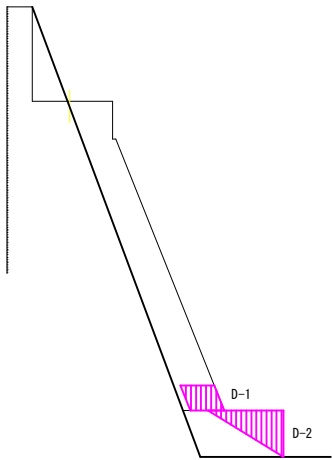
断面修復工(左官工法)

凡 例

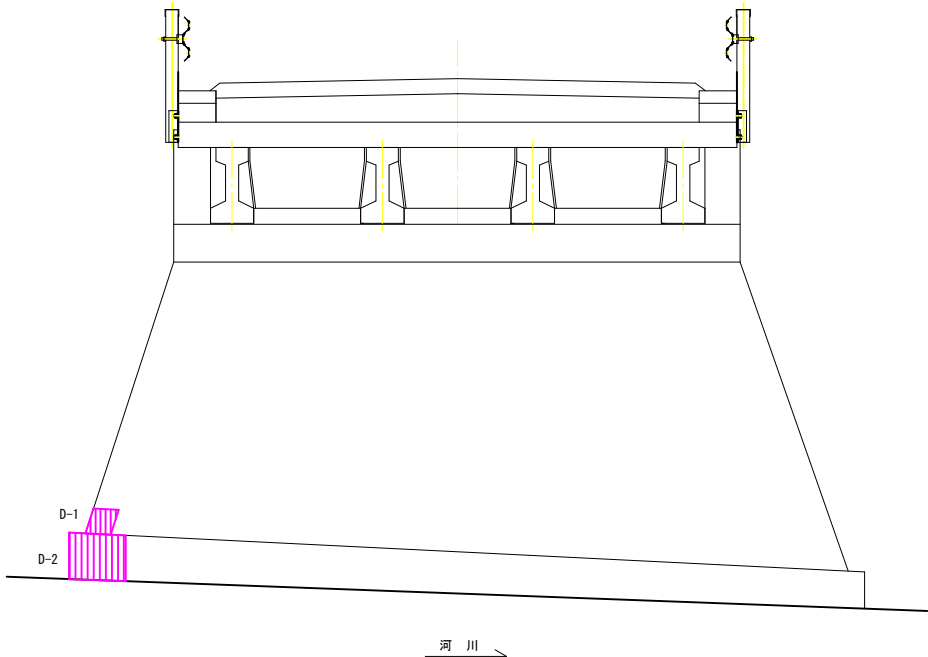
(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

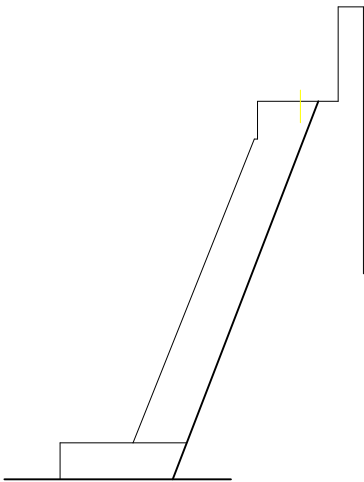
側面図



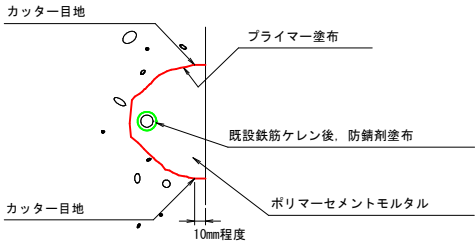
正面図



側面図



断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 250～370mm

断面修復工数量表 (左官工法)

	損傷範囲				損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
損傷 番号	損傷	短辺 m	長辺 m	深さ mm		
下部工 (A2橋台)						
D-1	洗堀	0.20	0.20	250	0.0400	0.01000
D-2	洗堀	0.45	0.60	370	0.2700	0.09990
合計					0.3100	0.10990

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託 (15m未満)		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	7 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

S=1:50

Technical drawing of a bridge structure. The drawing includes the following dimensions and labels:

- 橋長 7500** (Bridge Length 7500)
- 桁長 7430** (Truss Length 7430)
- 支間長 6970** (Span Length 6970)
- “a”部** (Part "a")
- ①** (Label 1)
- ②** (Label 2)
- ③** (Label 3)
- ④** (Label 4)
- ⑤** (Label 5)
- ⑥** (Label 6)
- ⑦** (Label 7)
- ⑧** (Label 8)
- ⑨** (Label 9)
- ⑩** (Label 10)
- ⑪** (Label 11)
- ⑫** (Label 12)
- ⑬** (Label 13)
- ⑭** (Label 14)
- ⑮** (Label 15)
- ⑯** (Label 16)
- ⑰** (Label 17)
- ⑱** (Label 18)
- ⑲** (Label 19)
- ⑳** (Label 20)
- ㉑** (Label 21)
- ㉒** (Label 22)
- ㉓** (Label 23)
- ㉔** (Label 24)
- ㉕** (Label 25)
- ㉖** (Label 26)
- ㉗** (Label 27)
- ㉘** (Label 28)
- ㉙** (Label 29)
- ㉚** (Label 30)
- ㉛** (Label 31)
- ㉜** (Label 32)
- ㉝** (Label 33)
- ㉞** (Label 34)
- ㉟** (Label 35)
- ㊱** (Label 36)
- ㊲** (Label 37)
- ㊳** (Label 38)
- ㊴** (Label 39)
- ㊵** (Label 40)
- ㊶** (Label 41)
- ㊷** (Label 42)
- ㊸** (Label 43)
- ㊹** (Label 44)
- ㊺** (Label 45)
- ㊻** (Label 46)
- ㊼** (Label 47)
- ㊽** (Label 48)
- ㊾** (Label 49)
- ㊿** (Label 50)

[illegible]

橋長 7500
桁長 7430
支間長 6970

4500
3 @ 1195 = 3585
458
458

起点側

終点側

支承
支承防錆工

“c”部

A1 A2

川

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing shows a rectangular bridge deck with a total width of 4500 mm. The top edge has a width of 4500 mm, and the bottom edge has a width of 4500 mm. The height of the bridge deck is 3000 mm. The bridge is supported by four piers, with the central pier labeled '62' and the side piers labeled '61' and '63'. The piers are shown in cross-section with reinforcement details. The bridge deck is shown in cross-section with reinforcement details. The drawing includes dimensions for the bridge deck, piers, and reinforcement details. The drawing is a technical drawing of a bridge cross-section.

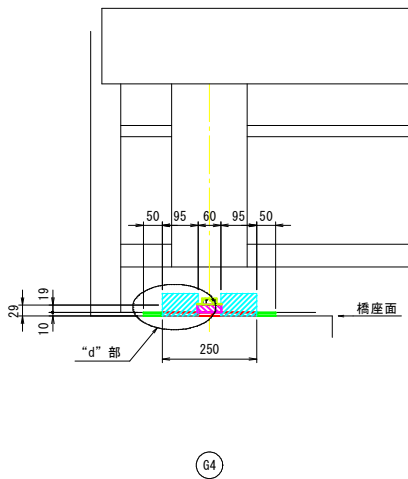
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その6)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	8 / 13
会社名	中電技術コンサルティング株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

支承防錆工詳細図(2)

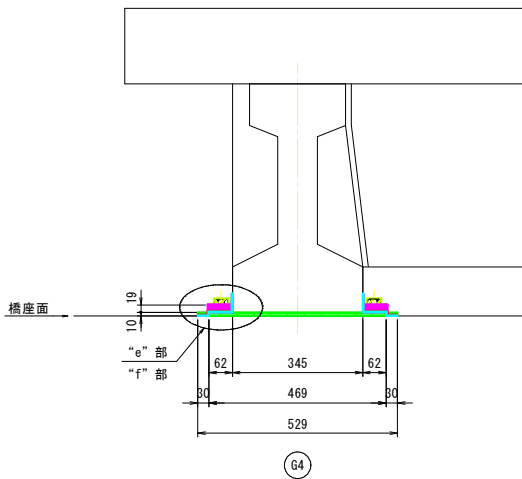
凡例

補修工法	
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部①
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部②
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部③
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部④⑤
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部⑥

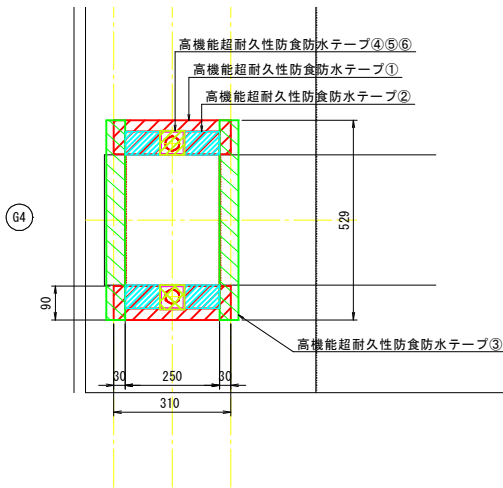
“a”部側面詳細図



“b”部正面詳細図



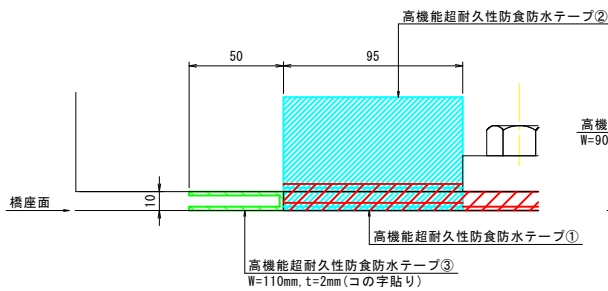
“c”部平面詳細図



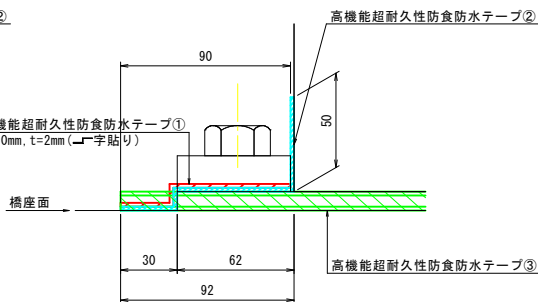
貼り付け詳細図

S=1:2

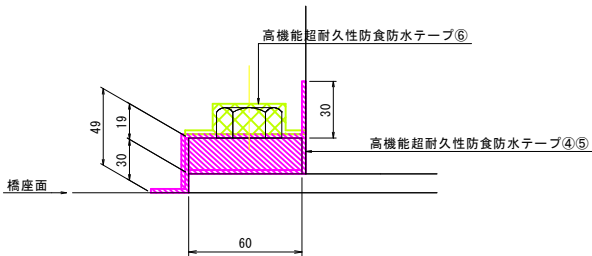
“d”部



“e”部



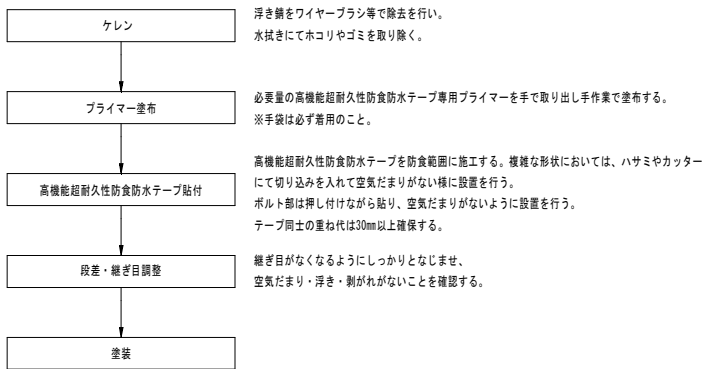
“f”部



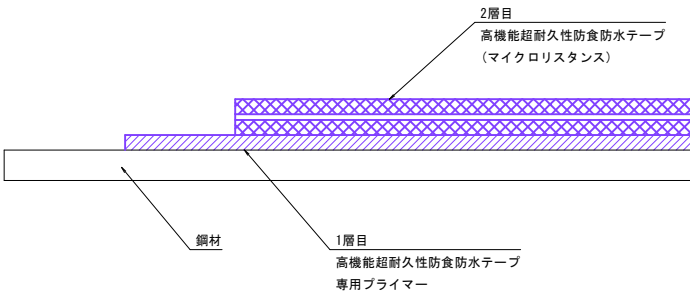
手順)

1. 下地処理(3種ケレン相当)を行い、プライマーを塗布する。
 2. 高機能超耐久性防食防水テープを支承に巻きつけ、手やコテを用いて貼り付ける。
- ※ 形状に応じてハサミやカッターで切込みを入れて空気だまりできないように留意すること。
また、テープ同士の重ね代は30mm以上とすること。

高機能超耐久性防食防水テープ設置工
フロー図



高機能超耐久性防食防水テープ
システム断面図



高機能超耐久性防食防水テープ設置数量表

	部位名	規格	単位	数量	箇所数	小計
①	正面①	90 × 310 t=2mm	m ²	0.028	16	0.446
②	正面②	112 × 95 t=2mm	m ²	0.011	32	0.340
③	側面	110 × 529 t=2mm	m ²	0.058	16	0.931
④	凸部(側面)	49 × 240 t=2mm	m ²	0.012	16	0.188
⑤	凸部(上面)	120 × 120 t=2mm	m ²	0.014	16	0.230
⑥	ボルト部	100 × 100 t=2mm	m ²	0.010	16	0.160
合 計 面 積						2.296

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その7)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:10	図面番号	9 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- 4) 支承防錆工の施工にあたっては、狭隘部であるため手作業可能範囲で施工のこと。

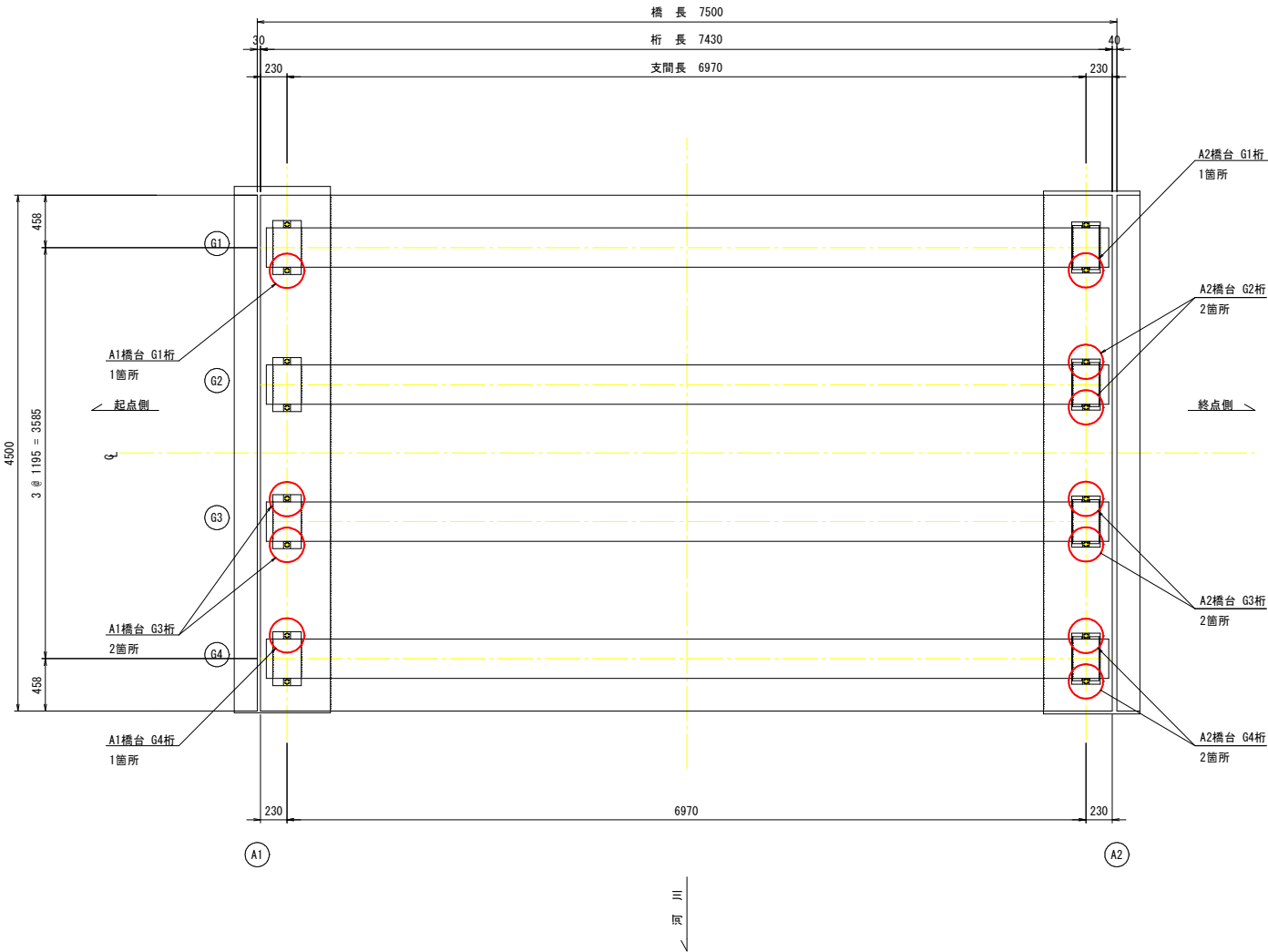
唐香橋 補修図(その8)

S=1:30

ナット設置工

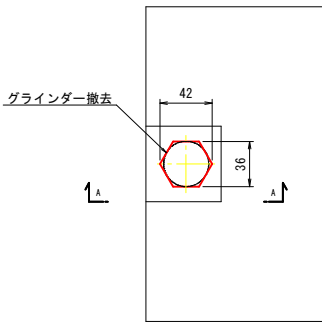
平面図

S=1:30

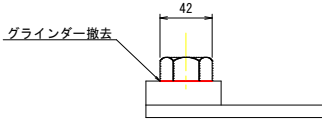


既設ナット撤去工詳細図

S=1:3



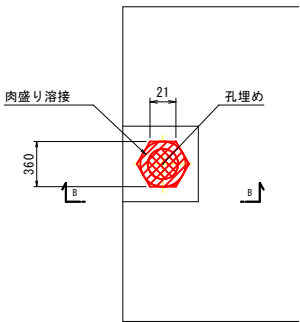
A - A



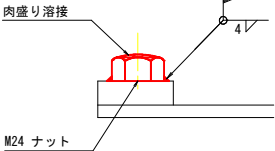
・グラインダー撤去工
n = 11箇所

新規ナット設置工詳細図

S=1:3



B - B

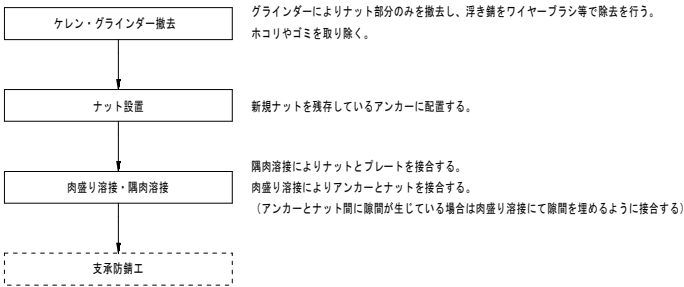


・新規ナット設置工
11-NUT M24 (SS400)
溶接実長 L = 0.021x6 x 11 = 1.386m

ナット設置工数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
グラインダー撤去工		箇所	11	
溶接実長(隅肉溶接 脚長4mm)	L = 0.021x6 x 11 = 1.386	m	1.386	
溶接実長(肉盛り溶接)	L = 0.024 x 11 = 0.264	m	0.264	11箇所

ナット設置工
フロー図



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支保脚については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)
図面名	補修図(その8)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:30, 1:3
図面番号	10 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

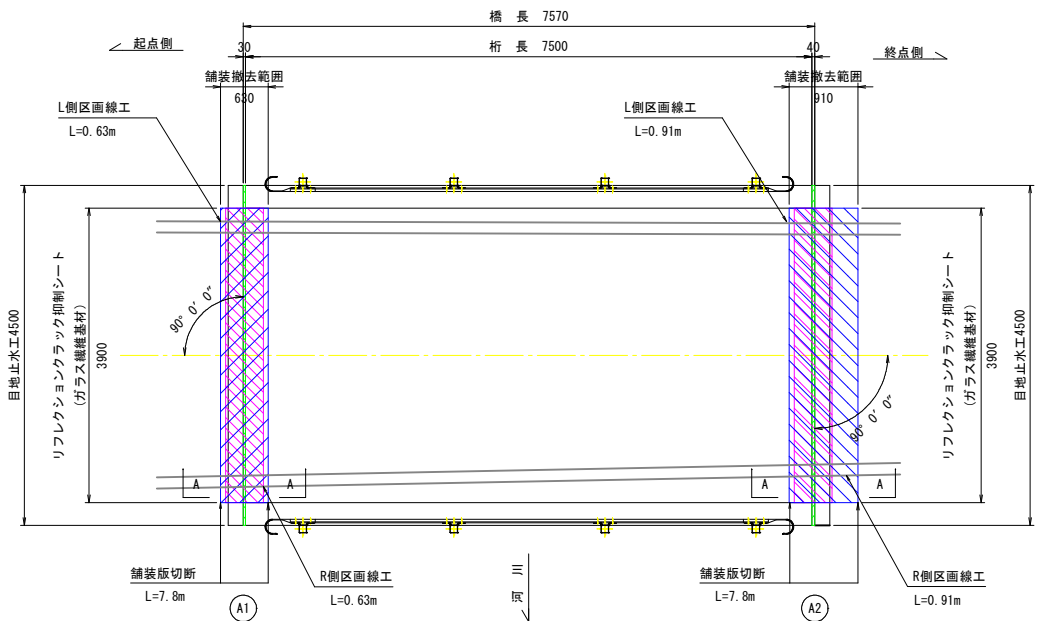
唐香橋 補修図(その9)

S=1:50

舗装撤去・再舗装工, 目地止水工

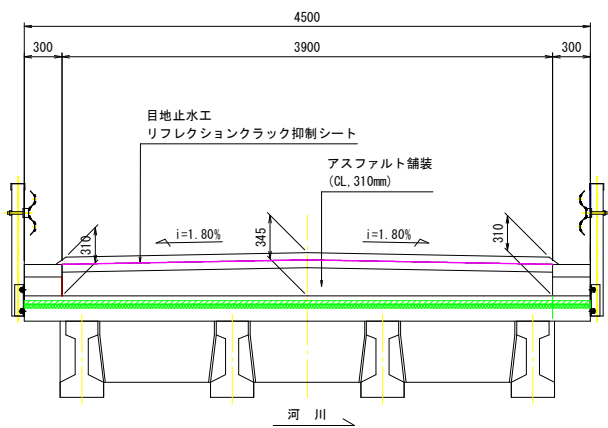
平面図

S=1:50

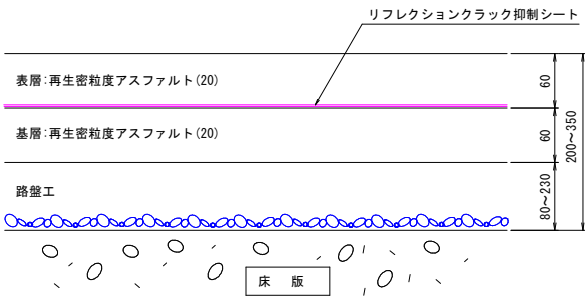


断面図

S=1:30



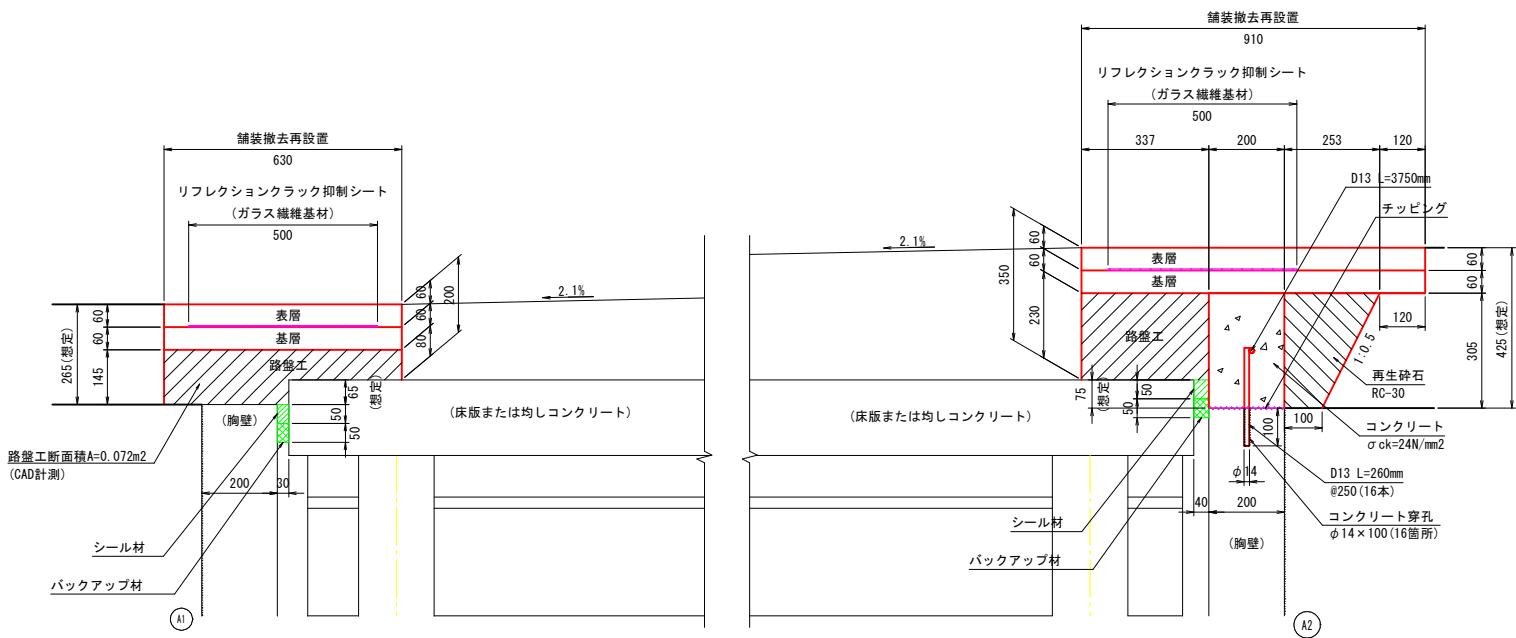
舗装構成図



端部防水処理詳細図

S=1:10

A - A



舗装破砕工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	15.6	
舗装撤去工	アスファルト舗装版 15cm以下	m ²	6.0	
搬運搬	アスファルト版	m ³	0.72	t=120mm想定
処分	アスファルト版	m ³	0.72	W=1.69t
路盤工	再生クラッシャー	m ³	1.04	再利用

舗装補修工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
チップング		m ²	0.78	
コンクリート穿孔	φ14×100	箇所	16	
型枠		m ²	2.5	
鉄筋	S0345 D13	kg	8	
コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.24	
再生砕石	RC-30 平均厚t=213mm	m ²	0.99	V=0.21m ³
アスファルト舗装 表層	密粒度(20), タックコート t=60mm	m ²	6.0	
アスファルト舗装 基層	密粒度(20), プライムコート t=60mm	m ²	6.0	
路盤	再生クラッシャー 平均厚t=155mm	m ²	3.8	V=0.58m ³
残土	再生クラッシャー	m ³	0.5	
区画線	白線 実線 15cm	m	3.1	

目地止水工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
リフレクションクラック抑制シート	W=500 ガラス繊維基材	m	7.8	
シーリング材	変性シリコン	?	15.8	
バックアップ材		?	15.8	

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その9)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:30	図面番号	11 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材計法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

唐香橋 補修図(その10)

S=1:10

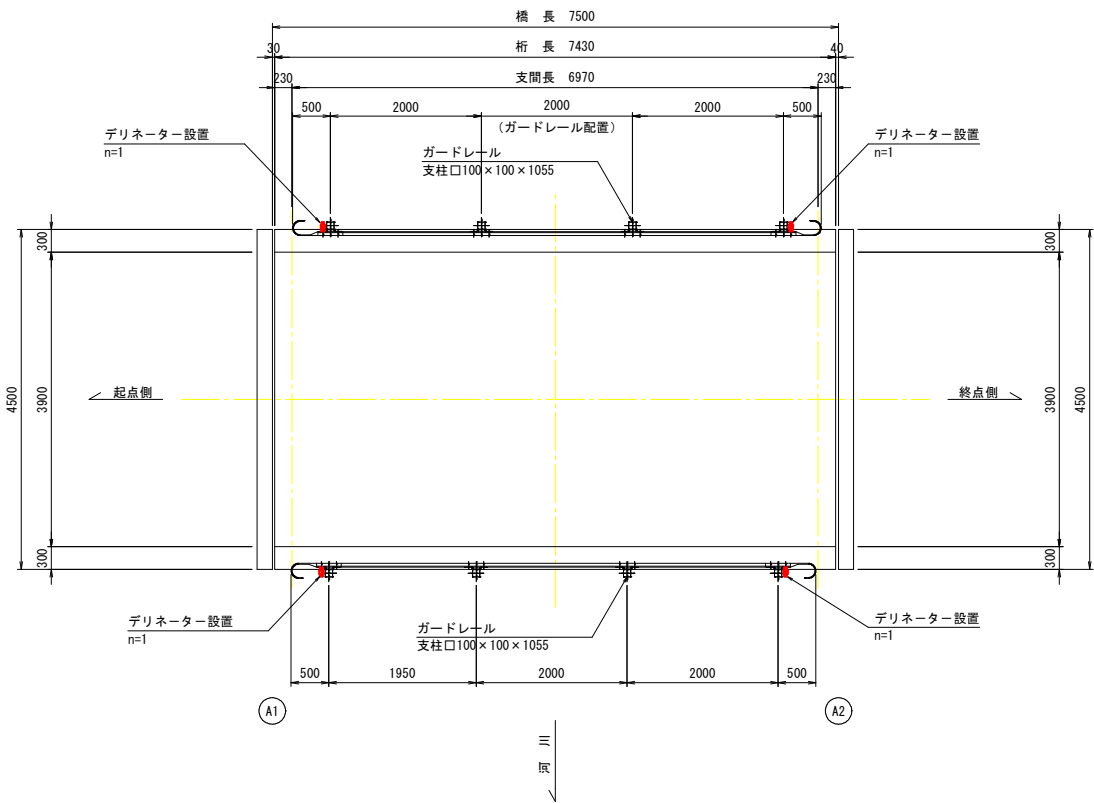
防護柵

デリネーター設置工

n=4基

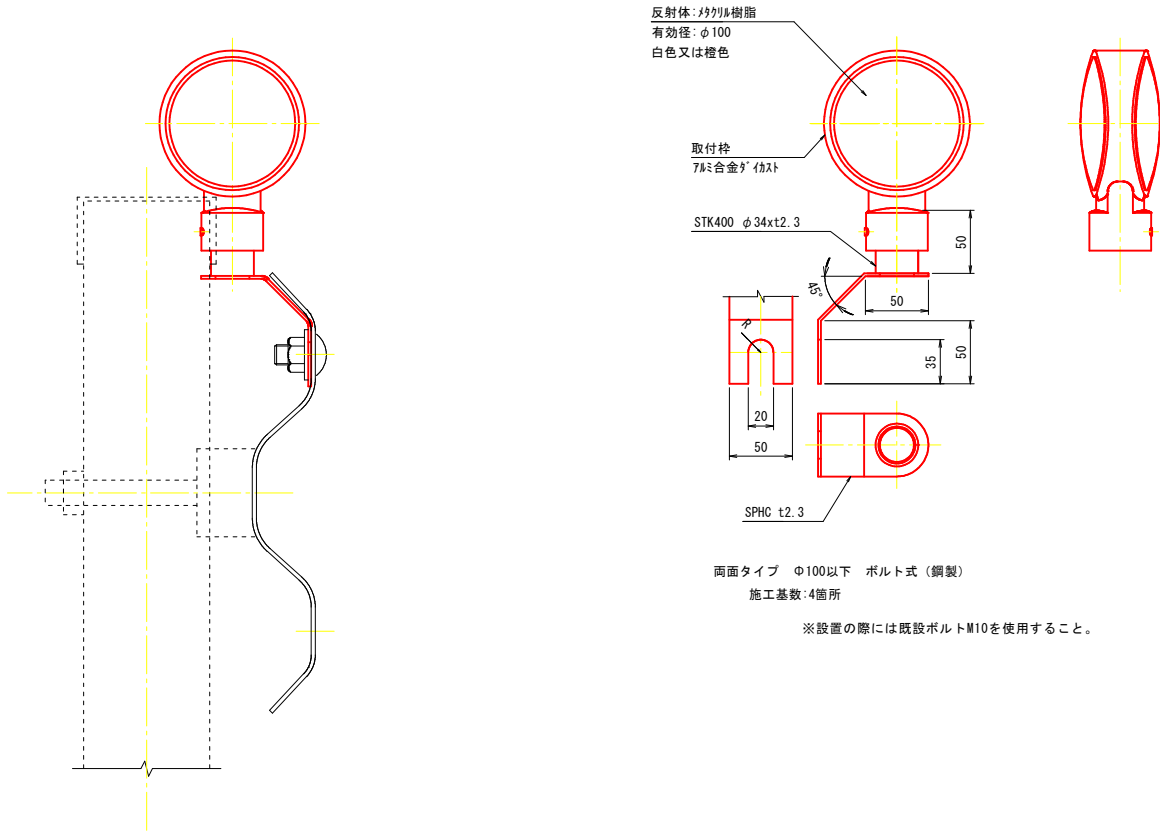
平面図

S=1:50



デリネーター詳細図

S=1:3



デリネーター設置工数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
視線誘導標	両面タイプφ100以下 ボルト式（鋼製）	箇所	4	

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【唐香橋】

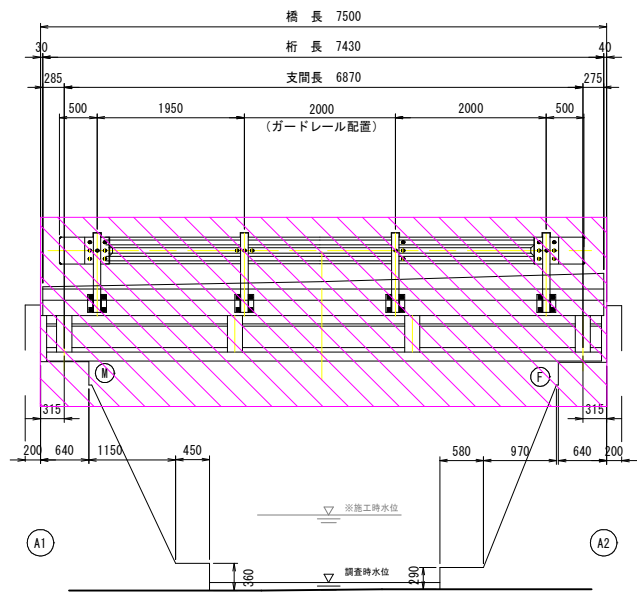
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その10)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

唐香橋 仮設計画図(参考)

S=1:50

側面図

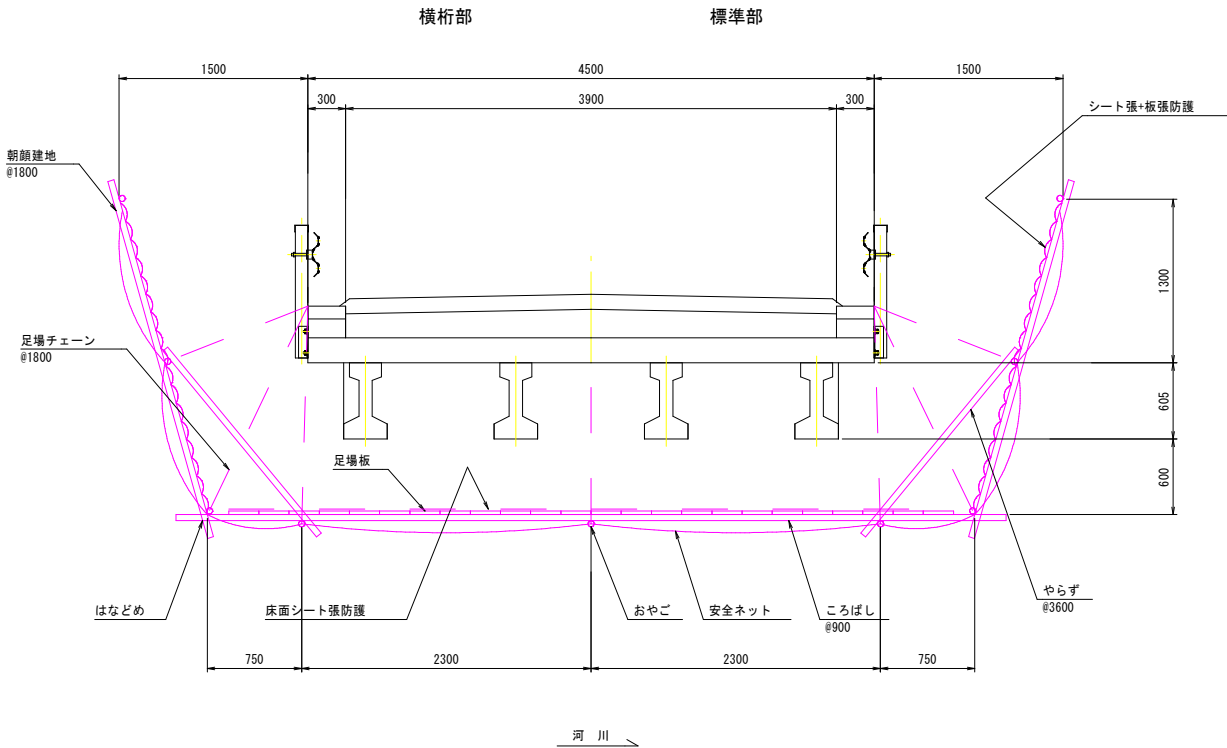
S=1:50



※施工時水位：非出水期(11月～4月)の観測データを用いて算出した数値である。

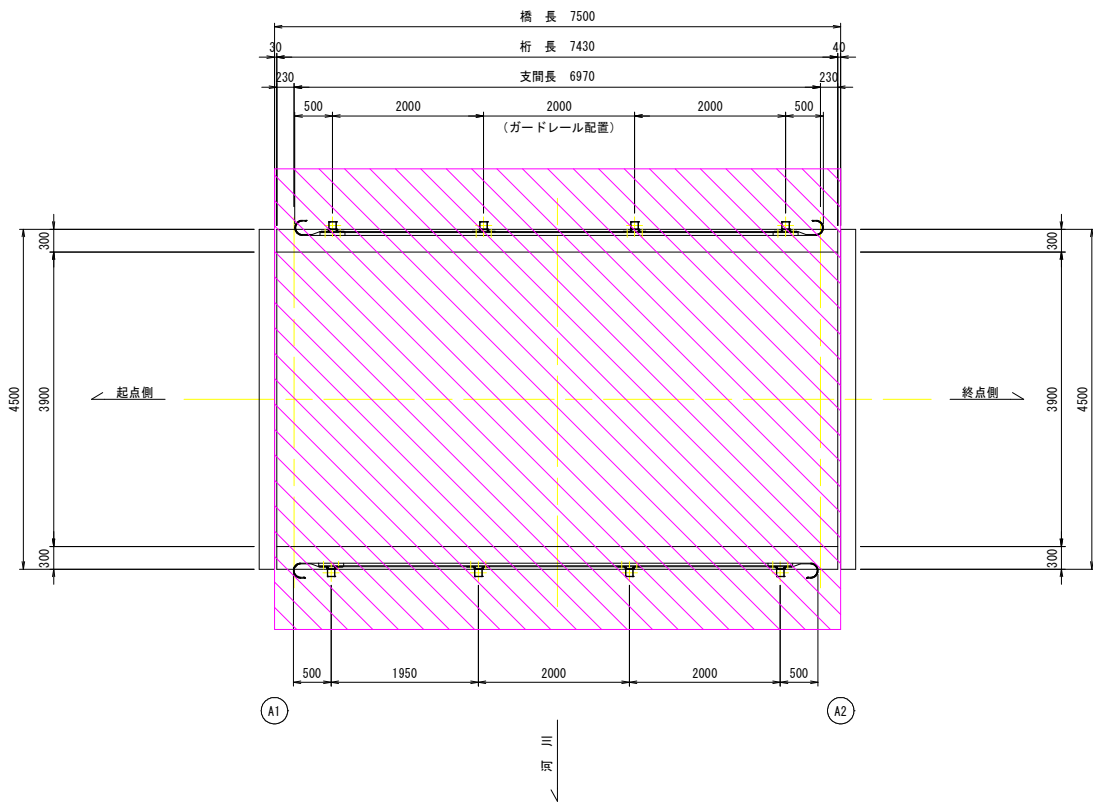
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50

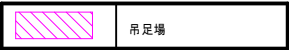


吊足場数量

$7.50 \times 4.50 = 33.75 \text{ m}^2$

合計 = 33.75 m²

凡 例



注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。
- 3) 施工の際は、周辺の利用者等の交通に支障をきたさないよう留意して施工のこと。

【唐香橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮設計画図(参考)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:30	図面番号	13 / 13
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		